

議会

133

12月定例議会号

だより

令和5年 2月

発行 佐呂間町議会



TOPIC

佐呂間中学校3年生が町議会を傍聴

特集「中学生の見る議会」

町政について議員が問う

一般質問「中学校部活動の「地域移行」について」など

＜栄地区 年忘れ花火＞

「新型コロナ退散」 良い年が迎えられるよう祈願し、大晦日の寒い夜空にたくさんの花火が打ち上がりました。

(令和4年12月31日撮影)



さ ろ ま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第4回定例会

・審議した議案②

- 【主な歳入】
- ・現年度分普通徴収保険料 679万円
- ・事務費繰入金 ▲144万円
- 【主な歳出】
- ・後期高齢者医療広域連合保険料等負担金 635万円



■令和4年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号) 391万円が追加され、予算の総額が2億5887万円になりました。

【主な歳入】

- ・一般会計繰入金 ▲430万円
- ・前年度繰越金 821万円
- 【主な歳出】
- ・燃料費(特養老人ホーム) 150万円
- ・光熱水費(特養老人ホーム) 129万円

■令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 635万円が追加され、予算の総額が9595万円になりました。

条例

■議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

公職選挙法の一部を改正する法律及び公職選挙法施行令の一部を改正する政令が令和4年4月6日に公布され、今における物価の変動等に鑑み、衆議院議員及び参議院議員の選挙運動に関し、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用通常はがき等の作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことに伴い、本町議会議員及び町長の選挙運動の公費負担に関する条例について所要の改正を行うものです。



■選挙ポスター掲示場の設置に関する条例の一部改正

知来地区の選挙人名簿登録者数の減少により、現在分かっていた2投票区(知来・佐呂間市街)を一つに統合する改正で、合わせてポスター掲示場の設置数も変更になることから、条例の一部を改正するものです。

人事院勧告に基づく条例改正

■議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

■特別職の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部改正

■職員の給与に関する条例の一部改正

■第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

これら4件については、令和4年人事院勧告に基づく国の対応に準じて、町職員の給与や手当などの改定を行うため、関係する町の条例を改正するものです。

主な改正の内容は次のとおりです。

①月額給の改定

民間と公務の令和4年4月分の給与を調査し、給与較差が民間より0.23%下回っており、また民間における初任給の動向を踏まえ、一般職試験大学卒に係る初任給を3000円、高校卒4000円をそれぞれ引き上げるとともに、20歳代半ばに重点を置き、初任の係長級の若手職員



■交通指導員設置条例の一部改正

本指導員は、町内各自治会等から推薦された候補者の任命要件該当の有無を判断のうえ町長が任命していますが、人口減少や高齢化の影響で、推薦要件に年齢制限があることと、今後さらに人材不足となる可能性があるため、推薦要件の緩和に伴う改正を行うものです。

第4回定例会

第4回定例会が12月14日から15日の間で開催され、議案26件、選挙1件、意見書1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案①

審議した議案

高騰するエネルギー価格・燃料費・光熱水費(電気料)に影響
国による様々な制度改正など、関連する条例等を整備



予算

- 令和4年度一般会計補正予算(第8号)
- 9051万円が追加され、予算の総額が59億9698万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・普通交付税 9736万円
- ・財政調整基金繰入金 ▲1億9305万円
- ・前年度繰越金 1億8085万円
- ・水産物流通加工活性化総合整備事業補助金返還金 378万円
- 【主な歳出】
- ・光熱水費(庁舎維持管理) 139万円
- ・職員住宅改修工事 280万円
- ・光熱水費(自治会外灯) 180万円

- ・療養給付費負担金(後期高齢者医療) 734万円
- ・出産・子育て応援交付金 350万円
- ・代替人夫報酬(佐呂間保育所) 150万円
- ・国庫負担金等返還金(予防接種) 1503万円
- ・光熱水費(一般廃棄物処理) 189万円
- ・家畜伝染病対策支援事業補助金 174万円
- ・水産物流通加工活性化総合整備事業補助金返還金 291万円
- ・商工業活性化事業補助金 400万円
- ・修繕料(公営住宅) 270万円
- ・燃料費(小学校) 583万円
- ・光熱水費(小学校) 267万円
- ・燃料費(中学校) 404万円

- ・光熱水費(中学校) 127万円
- ・燃料費(町民センター) 267万円
- ・燃料費(武道館温水プール) 199万円
- ・光熱水費(武道館温水プール) 376万円
- ・光熱水費(給食センター) 183万円
- ・公共下水道特別会計繰出金 ▲281万円
- ・介護サービス事業特別会計繰出金 ▲430万円
- ・後期高齢者医療特別会計繰出金 ▲129万円
- 令和4年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 976万円が追加され、予算の総額が5億2239万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・前年度繰越金 909万円
- 【主な歳出】
- ・光熱水費(簡易水道施設) 479万円

- 令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 143万円が追加され、予算の総額が8億1598万円になりました。
- 令和3年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)
- 580万円が追加され、予算の総額が3億4020万円になりました。
- 【主な歳入】
- ・一般会計繰入金 ▲281万円
- ・前年度繰越金 861万円
- 【主な歳出】
- ・光熱水費(公共下水道施設) 191万円
- ・光熱水費(漁業集落排水施設) 107万円
- 令和4年度介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 5万円が追加され、予算の総額が5億3589万円になりました。

第4回定例会

・町長行政報告

町長行政報告(要旨)

■ **新型コロナウイルス感染症の発生**
11月4日に特別養護老人ホーム愛の園において新型コロナウイルス感染者が確認され、11月20日にかけて入園者及び短期入所利用者43名、職員12名が罹患し、うち入園者1名が死亡しました。お亡くなりになられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。

佐呂間保育所では、10月27日から11月30日までに保育士等の職員14名、児童45名が罹患したため一定期間を休所としましたが、若佐及び浜佐呂間保育所においては数名の罹患者が出たものの、両保育所とも休所にはしていません。

■ **定期予防接種における事故**
町が定期予防接種事業として実施しているHPVワクチン(子宮頸がんワクチン)の接種において、11月1日に接種誤りがありました。

誤って接種を受けた方は、20歳代の道外からの転入者の方で、予約時と接種当日の対応として、本人に「1回目の接種」であることを確認しましたが、翌日に本人が母子手

帳の記録を改めて母親に確認したところ、予防接種法に定められている定期接種3回を既に接種済みであったことが判明しました。

本人の申し出とはいえ、町担当保健師が母子手帳の写し等、接種履歴の確認に万全を期さなかったことから発生した事故であり、今後は複数での確認業務を徹底し、二度と事故を起こさないよう反省し、お詫びいたします。

■ **地方交付税の再算定**
本町の令和4年度交付分の普通交付税再算定が行われ、3714万円の追加交付が決定となり、本年度の交付額が25億3451万円に変更となりました。

■ **農業情勢**
麦類は平年をやや下回りでしたが、南瓜・甜菜は平年以上の収量を見込んでおり、大豆は順調に生育が進んだことから大粒傾向であり、これまでにない豊作となっています。

農産物全体では、農協の令和4年度農産販売計画15億6千万円に対し、実績では5%増の16億4千万円程度となる見込みです。

酪農関係では、生産資材の高騰による飲用等向け乳価の

期中改定でプール乳価は昨年を上回りましたが、目標数量は生乳生産抑制により、当初計画から下回る50591トンに変更され、緊急的な生産抑制対策として「経産牛の淘汰に対する助成」「抑制達成に対する助成」を実施し取り組むこととなり、酪農畜産全体では計画を下回り、70億9190万円程度となり、農業販売額全体では、87億3190万円程度となる見込みです。

生産資材の高騰は、今後も続くものと予想され、次年度の営農にも大きく影響するものと思われまます。

■ **漁業**
外海ホタテ漁業は、最終的に計画を若干上回る9600トンの水揚げを見込み、販売金額はキロ単価244円になるなど、高値で推移していますが、労働者不足が懸念されています。

養殖ホタテ漁業の生産数量は1640トンの見込みであり、キロ単価540円程度となる見込みです。

さけ定置網漁業は、漁獲量1144トンで前年対比154%となり、漁獲金額は7億5300万円と前年対比141

%の水揚額となりました。

このような状況の中、本年の佐呂間漁協の総水揚げ額は、前年対比130%の税別で43億円が見込まれています。

■ **林業**
町有林に係る各事業は、国の補助制度を活用し継続的な森林資源の保全に努めています。

民有林においても森林組合が補助制度を活用しながら、造林事業など316箇所を実施する見込みであり、加えて本年度より森林環境譲与税を活用した町単独の補助事業である「民有林整備促進事業」については3箇所の実施で、補助金603万6千円を交付予定であり、適切な保護育成が進められています。

■ **商工業**
10月から販売したプレミアム付ふるさと商品券は、11月末現在で1万618セットが販売されています。

また、商工業活性化補助金は7件で786万円の利用、住宅建設促進事業補助金は増改築23件で354万円の利用、トイヨータイヤ販売促進事業では、9月までの第2四半期で248本、49万円の補助となっています。

第4回定例会

・審議した議案③

定年引上げに伴う関係条例等の整備

■ 職員の定年等に関する条例の一部改正
■ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

これら2件については、国家公務員の定年の引上げに伴い、地方公務員の定年も60歳から65歳まで2年に1歳ずつ段階的に引上げられるとともに、組織全体としての活力の維持や高齢期における多様な職業生活設計の支援などを図るため、地方公務員についても国家公務員と同様の措置を講ずる法律の改正が行われることに伴い、関係条例等の整備を行うものです。

地方公営企業法適用に伴う関係条例等の整備

■ 特別会計条例の一部改正
■ 簡易水道事業の設置等に関する条例の制定
■ 簡易水道事業給水条例の一部改正
■ 簡易水道事業基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

■ 簡易水道設置条例の廃止
■ 公共下水道事業の設置等に関する条例の制定
■ 漁業集落排水事業償還基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正
■ 公共下水道設置条例の廃止
■ 漁業集落排水下水道設置条例の廃止

これら9件については、人口減少等による料金収入の減少や、施設・設備の老朽化に伴う更新投資の増大など、厳しい経営環境である簡易水道及び公共下水道事業において、地方公営企業の経営基盤の強化などに迅速、的確に取り組む必要があるため、経営状況の確かな把握が可能とされる公営企業会計方式へ令和5年度までに移行するよう国からの要請があるため、関係条例等の整備を行い、令和5年度より移行するものです。

「地方公営企業」
地方公共団体が経営する企業活動を総称して呼ばれるもので、一般的な行政活動のほか、地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供する様々な事業活動であり水道事業や下水道事業がその代表的なもの。

その他

■ 工事請負契約の締結の議決事項の変更
第2回定例会にて議決された「下水道管理センター設備改修工事(電気設備)」において、コロナ禍やウクライナ情勢により電気機器製作に係る資材の入手が困難となり、工期内での完成が困難となったことから、工期延長及び予算執行を令和5年度に繰り越すもので、契約相手方や請負金額に変更はありません。

・変更前の工期
令和5年2月28日
・変更後の工期
令和6年3月22日

選挙

■ 町選挙管理委員及び同補充員の選挙について
選挙管理委員及び同補充員の任期満了に伴う選挙の結果、次の方が当選されました。

◎委員
・永代町 榎本 彰 氏
・浜佐呂間 藤原 一成 氏

意見書

■ インボイス制度導入にあたっての検討・配慮を求める意見書
令和5年10月導入予定のインボイス制度に向け、インボイス発行事業者の登録申請が行われる中、2年以上続くコロナ禍にあって、多くの中小零細企業は事業継続、雇用維持など懸命に取り組んでいますが、今起きている物価高騰の影響は大きく、国のインボイス制度導入は一定の理解をするものの、実施については慎重にならざるを得ません。

よって、国は中小零細企業や個人事業主の事業存続と再生、さらに日本経済の振興のために、今後の本制度導入の丁寧な説明と導入時期の再検討を求める意見書を可決し、衆参両院議長及び関係大臣宛に提出しました。

・永代町 佐々木 益弘 氏
・浜佐呂間 村岡 忠 氏
◎補充員(順位順)
①若佐 月居 顕示 氏
②宮前町 南保 清美 氏
③富武士 室井 久志 氏
④宮前町 上伊澤 暁彦 氏

第4回定例会

・特集 中学生の見る議会②



**一人ひとりの意見が
より良い町づくり
に**

関東 紗智子 さん

私は議員の皆さんの話し方や態度について注目して聞いていました。相手に話す時は、

渡辺 真由 さん

今日の議会傍聴では、議会に参加している議員の皆さんが、佐呂間町の課題に真剣に向き合っていることがよく分かりました。

議会の内容は、町内の出来事にとどまらず、ニユースでも目にする現代社会における様々な分野の話があり、その理解を深めるには沢山の知識が必要だと思ったので、質疑応答の際にスラスラと発言できるのは凄いなと思いました。

他の市町村の状況も参考にしたいので、会議が進められていたことも印象に残っています。

今日の議会傍聴で、町の議会がどのように行われているかを知ることができました。

**様々な町の課題を
真剣に協議**



しっかりと相手の目を見て反応をうかがい、答弁を受け取る時にはメモを取り、相づちを打っていました。"目で話す"とはこういう事なんだと初めて理解できました。

それ以外にも、私たち町民のために、議会に参加している皆さん一人ひとりが自分の意見をしっかりと持っている、重要な町の政策について一生懸命に考えてくれていることが分かりました。

この議会傍聴を通して、改めて一人ひとりの意見の大切さを学び、それがあって、より良い町づくりに取り組むことができるのだと思います。

**地域における
議会の在り方**

高橋 芙陽 さん

私はこの議会傍聴で、その地域においての議会がとても大切なことを改めて実感しました。

今回、印象として残ったのが、議会の方々が私たち町民のために真剣に話し合いを行っていたことです。議会ならではの前のことだと考える人もいると思いますが、その当たり前を議会の方々が続けてくれているおかげで、私たちの豊かな生活が守られ、さらに良くなると思えば議会という存在はとても偉大であると思います。

私たちの暮らしは、色々な人の行動の上で成り立っていることを胸に刻み、感謝を忘れずに一日一日を大切にしていこうと思います。

そして、私が行動する側の人になったら、誰か一人のためでも全力で考え、全力で取り組もうと思います。



第4回定例会

・特集 中学生の見る議会①

特集 中学生の見る議会

佐呂間中学校3年生が「総合的な学習」の一環として、12月14日に行われた第4回定例会の一般質問を傍聴しました。ここでは生徒の感想の一部をご紹介します。



**議場での
質疑応答を体感**

斎藤 パメリア 美莉 さん

私は今回の議会傍聴を通じて、町のために議論を重ねる議員の方々の凄さを体感しました。

例えば、最初に質問をした高橋議員は、元の質問から幅を広げて様々な突っ込んだ質問をしていました。高橋議員だけではなく、どの議員の方も町長や教育長の答弁を聞き「これはどうなっているのか」と、私では気付けなかった沢山のことを問いかけていました。

私は議会傍聴をしていて、気付けるということは将来強い武器になると思いました。これからは、私も色々なことを知り、色々なことに気付けるようになっていきたいと思います。

**町民目線での
話し合い**

荒田 憲昭 さん

私が議会傍聴を通して感じたことは、議会に参加してい



当り前のことですが、議会に参加している方々も佐呂間町で生活している住民です。私たちと同じようにこの町の良い所、悪い所、便利な所、不便な所を感じながら生活していて、町民の意見に心から共感し、この町を良くしようとする議員の方が熱弁している姿は、とても格好良かったです。

これからは、今回の経験を活かして、町や学校を少しでも良くできるように自分の出来ることを頑張っていこうと思います。

第4回定例会

・一般質問②

【質問】 現在、本町においても感染者が後を絶たない状況であり、町では感染者への支援として買物支援など独自の政策を実施し、感染者の不安解消にも繋がっているとは思いますが、一般家庭や小規模企業は検査キット自体を手に入れることが困難な状況です。本町でも一定の条件下で検査キットを配付することは検討しているのか伺います。

【答弁】（町長） 他の自治体での無料配付が行われていること、また現在町内での抗原検査キットの入手が困難である状況も承知しており、町内企業等で複数個の検査キットの購入相談があれば、状況に応じた対応を考えていきます。

【質問】 抗原検査キット等の町民への配付については、配付条件を定め、65歳未満の方で有症状、医療機関の受診困難な方などとして配付を制限している自治体もありますが、今後本町の対応としてはこれまで同様、実施しない考えです。

【質問】 町内薬局に行けば抗原検査キットが必ず手に入るような在庫管理を町から要請し、町民には町担当者に相談願うような周知が必要だと思えますが、どのように考えますか。

【答弁】（副町長） 日常の相談等は町で対応していますが、新型コロナウイルス関連については北海道の相談センターに相談願います。また、検査キット購入については、町内の調剤薬局であ

【質問】 児童館横の公園では、新しくなった遊具で毎日たくさん子ども達が遊び、休日も親子で遊んでいる姿をよく見かけると、外での遊びは必要不可欠であり、町民の憩いの場の重要性を感じます。小公園や交通公園なども、子ども達が集うだけの場ではなく様々な年代の方が利用し、また町民だけではなく、町外にも魅力を発信できるような公園として、例えばオートキャンプ場やトレーラーハウス、サウナ施設等を整備するといった町に足を運んでいただけるような今後の展望についての考えを伺います。

【答弁】（町長） 第5期総合計画に掲げる公園の施策では、公園施設の維持・更新と公園の再編整備の2つが主要の施策であり、現状の公園施策の実施状況は子ども達が安全に安心して遊べるよう施設、遊具の点検や更新を一番に解決すべき項目としています。整備後、外遊びをする子ども達の笑顔が増えていることは大変うれしくことです。近年では「グランピング」などといったグリーンドの高いキャンプもトレンドになってきており、そういった流れをどのような形で町の活性化に生かすかがキーワードとなりますが、観光の課題として、本町では「道の駅サロマ湖」が観光拠点になっていますが、通過型の観光客をいかに市街地に呼び込めるかが大きな課題であり、公園と観光施設の総合的な活用方法や、提案のあったキャンプ場であれば、温泉やサウナ施設とのセットなど、複合的な可能性を含めた中で検討していきたいと思います。



第4回定例会

・一般質問①

6名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

一般質問



高橋紀久 議員

中学校部活動の「地域移行」について

【質問】 今後の中学校部活動の地域移行の取組みをどのように考えているのか伺います。

【答弁】（教育長）

次年度より、各種関係者等で構成する検討会議を立ち上げ、生徒のニーズを踏まえ、教員の働き方改革や生徒及び保護者の負担にも配慮しつつ持続可能な環境整備に向けて検討を進めます。生徒のニーズの把握及び保護者や運動・文科系団体へのアンケート調査を行い、現状の部活とのマッチングなど多岐にわたって検討したいと考えています。

【質問】 佐呂間高校の部活動に対し地域移行と同様なフォローとして何かしらの考えがあるのか伺います。

【答弁】（教育長）

各活動へ公平に指導者を配置できるかどうかなど課題が多く、単純に導入に向けて考えられないが、一つの方法として考えていきます。

谷川教育長が考える 学校教育方針は
教育長：社会で生き抜くための様々な力を育む基礎づくりを行いたい

【答弁】（教育長）

検討会議の構成委員として佐呂間高校からも参加いただき、高校の意向等を踏まえ、中学校と高校の部活動の連携性などに関して一緒に検討していきたいと考えています。

【質問】

地域おこし協力隊のような形で指導者を募るといったような考えはありますか。

【答弁】（町長）

各活動へ公平に指導者を配置できるかどうかなど課題が多く、単純に導入に向けて考えられないが、一つの方法として考えていきます。

町外進学者における Uターン希望者等への支援について

【質問】

中学卒業後に町外の高校などに進学し、また佐呂間に

戻ってきて町のために尽くし、この町に住んで働く方への支援策としてどのような考えをお持ちなのか伺います。

【答弁】（町長）

町外高校進学者も佐呂間高校進学者も公平に考えていかなければならず、家業を継いだ場合には産業後継者就業奨励金制度がありますが、さらなる就業支援については考えていません。

【質問】

町に戻り就労した方に対する奨学金の返還免除などの考えについて伺います。

【答弁】（町長）

Uターンだけではなく、Uターンを含めた中での対応を図っていかねばならず、現状では考えていません。地元に戻ってきて仕事をしたいと思えるような町全体の振興に向けて取組みを進めていきたいと考えています。

谷川新教育長による 今後の学校教育に対する考えについて

【質問】

今後の谷川新教育長による教育方針について伺います。

【答弁】（教育長）

多様な可能性を持った一人一人の児童生徒が互いの異なる背景を尊重し、多様な経験を重ね、様々な得意分野の能力を伸ばしていくことがより強く求められることに加え、苦手な分野を克服しながら社会で生きていくために必要となる力をバランスよく身につけていくことが重要であり、佐呂間の地域性に特化した課題は現時点では感じていない、斬新な取組みではなく、着実に知識・技能を獲得し、対話や議論を通じながら問題解決する思考力、判断力、表現力あるいは主体的に学習に取り組む態度などを育むための基礎づくりをしっかりと行いたいと考えています。

【質問】

現状の小学校、中学校の今後の学校編成についての考えを伺います。

【答弁】（教育長）

小中学校の教員が目指す子供像を共有して、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す併設型小中一貫校の設置を模索していきたくと考えています。



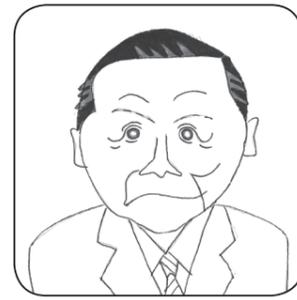
第4回定例会

・一般質問④

【質問】(町長)
 感染者の管理については、基本的に個別保健所の管轄となり、町が積極的に関わるものが出来ない部分については理解頂きたいと思えます。
 町が出来る対策としては、感染により自宅療養中で食料

【質問】
 本町においても、未だに収束が見えない新型コロナウイルス感染症ですが、国では新たな行動制限を行わず、重症化リスクのある高齢者等を守ることに重点を置き、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方針を打ち出し、現在ではコロナと共存する「ウィズコロナ」としてどの自治体も感染対策を講じていますが、本町における今後の感染対策について伺います。

ウイズコロナについて



面 栄 次 議 員

【質問】
 本町では今年度から地域おこし協力隊を配置し、町の観光振興に大いに活動されていますが、これまでの活動報告等も含め、町として今後の観

佐呂間町の観光振興について

品、日用品の買い物代行や配達について相談を受けていますが、これらの対応は感染された方からの申し出によって行われます。また、各種の相談に対しても随時対応しており、内容により相談先の紹介も行っています。
 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの罹患が同時流行する時期であり、町民の皆さんにはこれまでどおり感染予防対策に心掛けるようお知らせするということ町としての役割であると考えています。

光振興策について伺います。
 また、本年第2回定例会にて「ルートイングランティア サロマ湖」(以下、ルートイン)の状況について答弁がありました。その後の現況について伺います。

光振興策について伺います

令和4年4月から地域おこし協力隊を2名採用し、本町の観光産業、生活文化など多方面にわたる情報発信を精力的に行っています。
 具体的な手法としては、YouTube、フェイスブック、インスタグラム、ツイッター、ティックトック等のSNSを活用し、町外出身者の目で見ると町の魅力や特色を常時発信しており、常連の視聴者も増え、好評を得ているところです。
 また、東京や宮崎県都農町で行われた観光物産展等にも参加し、観光物産協会業務にも活躍し、町内外の活動にも

積極的に参加しています。
 今後の観光振興策については、本年度はサロマ湖展望台の大規模改修に加え、展望台までのアクセスの安全性を高めるため登山林道の一方通行化を行い、来春のリニューアルオープン後の利用者増加に期待を寄せているところです。
 また、サンゴ草群落の植生保護事業の継続と、森林環境譲与税の一部を活用した遊歩道の継続的補修を進めることにも、これらの自然環境と地域資源に加え、体験型、滞在型の観光に向けたニーズ調査を行う予定です。

観光客の低迷やイベントの中止が続く中 今後のような観光振興策を打ち出すのか

町長:…まずは「サロマ大収穫祭」の開催を目指す
 新たな観光に向けた可能性を模索する

第4回定例会

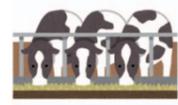
・一般質問③



土 田 剛 議 員

原材料値上げに係る酪農・畜産業経営安定化対策について

【質問】
 物価高騰の中にあつて、町内の酪農・畜産農家も飼料高騰や売却する牛の価格急落、牛乳減産による経営悪化が進む中、10月に決定した酪農・畜産経営安定対策給付金で乗り越えることができるのでしょうか。



経営縮小などの不安に悩む農業者が出ないよう、町長の答弁によって、明るい希望を持ち進んでいって欲しいという思いから、今後の酪農・畜産経営の安定化に向けた取組みについて伺います。

【答弁】(町長)
 農業を取り巻く情勢については、9月定例議会の際に、但木議員の一般質問の答弁でも説明しましたが、飼料、肥料等の生産資材のほとんどが輸入に頼っていることから、世界情勢の変化に伴い価格が変動し、高騰を続けています。
 また、生乳生産においても令和4年度当初の北海道の生乳指定団体の目標は、前年の101%、415.9万トンでしたが、需給均衡と乳製品在庫解消に向け、10月に5万トンの生産抑制が決定され、次年度も9万トン減の401.9万トンとなったところです。
 さらに、生産資材の高騰と生乳減産の動きが進む中、個

体販売価格も下落を続け、若干の回復傾向にあるものの、価格の低調が予測されています。
 これらの対策として、まず飼料高騰対策としては、生産者と飼料メーカーが拠出した通常補填基金と、国と飼料メーカーによる異常補填基金による配合飼料価格安定制度が国の積み増しにより実施されているところです。
 次に、肥料価格高騰対策としては、国が前年度から増加した肥料費の7割を北海道が1トン当たり3125円を上限に支給しています。
 生乳の需要改善については、国が酪農経営改善緊急支援事業として、乳量が少ないなどの低能力牛の早期淘汰に対し、1頭15万円、佐呂間町農協が抑制達成に対する助成として5万円を交付することとしています。

さらには、北海道では酪農生産基盤確保対策事業として、26カ月以上の経産牛1頭当たり7200円を支援する国の事業に6800円を上乗せして、飼料高騰や子牛の市場価格の下落、乳用牛群を確保するための種付け料として支援しています。
 本町においては、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、酪農・畜産経営安定対策給付金として1戸当たり15万円を支給したところです。
 しかし、これらの一時的な助成だけではなく、乳代の引上げが重要であることから、JAグループ北海道では加工原料乳生産者補給金等の単価の引上げを強く要請してきたところであり、昨日加工乳補給金が49銭引き上げられ、11円34銭となったところです。
 要望額には到底届かない額ではありますが、引き続き要望を続けることも、国・道の補助事業等の活用、また農協とも連携を図り、農業の支援に努めていきたいと考えています。

さらには、北海道では酪農生産基盤確保対策事業として、26カ月以上の経産牛1頭当たり7200円を支援する国の事業に6800円を上乗せして、飼料高騰や子牛の市場価格の下落、乳用牛群を確保するための種付け料として支援しています。
 本町においては、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、酪農・畜産経営安定対策給付金として1戸当たり15万円を支給したところです。
 しかし、これらの一時的な助成だけではなく、乳代の引上げが重要であることから、JAグループ北海道では加工原料乳生産者補給金等の単価の引上げを強く要請してきたところであり、昨日加工乳補給金が49銭引き上げられ、11円34銭となったところです。
 要望額には到底届かない額ではありますが、引き続き要望を続けることも、国・道の補助事業等の活用、また農協とも連携を図り、農業の支援に努めていきたいと考えています。

第4回定例会

・一般質問⑥

【質問】
 令和5年度一般会計、特別会計の予算編成については、まだこの時期では地方交付税の見通しが立たない中ですが、基金残高や町債の状況を含め、本町における新年度予算編成概要見込みについて伺います。

【答弁】(町長)

国は経済再生を最優先に、財政健全化に向けためり張りの利いた予算編成を行い、成長経路に乗せることを目指していますので、本町の令和5年度予算については、現

在各課において策定作業を行っています。社会情勢の影響から、光熱水費、燃料費をはじめ投資的経費においても物価高騰による歳出予算の増額が予想され、例年に増して厳しい財政状況に変わりはなく、老朽化施設の長寿命化事業や道路、橋梁、上下水道などインフラ事業に多額の財源を要することから、予算については物価高騰による増額を除き、令和4年度の経常経費を上限としてマイナスイーリングを指し、事務事業の改革及び業務の改善を徹底し、経常経費の削減に努めるよう指示を出しているところです。

令和5年度一般会計及び4特別会計、2公営企業特別会計の当初予算総額について

は、限られた財源の中で、最大の事業効果を発揮できるように令和4年度当初予算を基本として編成する考えで精査していきたいと思えます。

【質問】
 令和5年度の予算事業の編成上において、思いを込めた予算にタイトルを付けるとするならばどのような予算計画案とするか伺います。

【答弁】(町長)

佐呂間町の地域おこし協力隊2名の採用や、日本航空との共同企画「JAL DE パンフキンキャンペーン」を通じて、町の未来づくりを飛躍させる元年にするという思いを込め、「未来の青空へ飛び立つぞ予算」と名付け、夢の翼佐呂間号で大空へ舞い上がりたいと思います。

第4回定例会

・一般質問⑤

【質問】
 ロシアのウクライナ侵攻から間もなく10ヶ月になり、その後起こった物価高騰は今も続き、10月末までに2万品目以上が値上がりし、さらに追い打ちをかける円安を要因とする値上がりは既に2000品目を超え、来年2月から3月をピークに値上げラッシュが再来する可能性が高いと指摘されています。

【質問】

費用対効果を考えるの対策となると、その間に町民や各産業の方たちは疲弊してしまっているのではないですか。

現在、町は交付金が入ってからのこれらの物価高騰対策事業を考え実施していますが、そうではなく、先に今大変な所に入らなければ、交付金が後から入ったならそれに充当することはできるのでしょうか。

【答弁】(町長)
 町が先行して事業を実施することは可能ですが、この世界的規模での今の事態、全体的に見て支援を必要とする具体的なものがあれば、町としても検討していきたいと思えますが、まだ模索中で把握できない部分もあるため、現状としては難しいと思えます。



但木早苗 議員

長引く物価高騰への対策について

今後の物価高騰対策については、物価高騰の要因を考えると、国際情勢の動向により物価の推移は大きく変動する可能性があります。

また、果たしてそれで十分でしょうか。延長する考えはあるのでしょうか。

【答弁】(副町長)
 基金については、特定目的があって積立てをしており、一般家庭でいう普通預金のような経済的に困って下ろせる基金は、一般的には財政調整基金です。

このままでは町民や各産業が疲弊してしまふ今までは違う方法で更なる支援策を
町長：各分野における現況把握に努め有効な解決策を考慮したうえで支援策を講じる



小松正義 議員

令和5年度一般会計及び特別会計の予算編成概要について

昨年に続き、編成する来年度予算にタイトルを付けるとすれば
町長：町の未来づくりを飛躍させる元年に！「未来の青空へ飛び立つぞ予算」

【質問】
 町の指標となる自主財源については、若干なりとも増額的な状況となるのではと予想されますが、いかがな状況であるか伺います。

【答弁】(町長)

基幹産業である農業は、酪農・畜産における個体販売価格の下落や飼料、燃油の高騰による経営の悪化が懸念されますが、漁業ではホタテの市場価格が高値で推移し、アキサケの水揚げも史上最高となり、主要な税収は平年並みを確保できると見込んでいます。

議会ニュース

・総務福祉常任委員会現地調査

第3回臨時会

第3回臨時会が10月31日に開催され、議案2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案
・町長行政報告



新たに導入した機器の説明

マイナンバーカードの健康保険証が利用可能なシステムの導入及び連動する機器、耐用年数を経過した電子検査機器を更新しました。
また、会計窓口には自動精算機が設置されるなど、今後時代へのニーズに合わせた利便性の高い診療所運営に努めていきたいと思います。

クリニックさろま

総務福祉常任委員会では、町内5カ所の施設を現地調査しました。

総務福祉常任委員会現地調査（令和4年12月5日）

ホワイトドーム

以前より利用者から、屋内照明が暗いとの申し出があったことからLEDに取り替え、非常に明るい環境下で日中や夜間のスポーツ活動ができるようになりました。



特に球技活動を行うには助かる明るさに

東公民館

町の地区集会施設整備費補助制度を活用し、傷みが目立つ外壁及び屋根の塗装工事を実施し、きれいな仕上がりとなっております。

仁倉公民館

同補助制度を活用し、老朽化した屋根塗装、館内の床改修、冷暖房機、照明器具及び音響設備が更新されました。



仁倉公民館内の更新箇所を視察



塗装工事された東公民館

また、老朽化した館内暖房機も取り替えました。

浜佐呂間農村公園

以前に実施した町内公園遊具の基準・劣化点検において、修繕等の対策が必要な遊具を計画的に順次更新しており、今年度は浜佐呂間農村公園内の木製複合遊具が撤去され、新しい複合遊具が設置されました。
長い間、地域の子ども達に利用されてきた遊具でしたが経年劣化が著しく、何より安全安心な公園管理が重要であるため、引き続き計画的な公園整備を進めていきたいと思います。



新設された複合遊具を視察

新型コロナウイルス感染症対策費、物価高騰対策費を補正

予算

■令和4年度一般会計補正予算（第7号）
7018万円が追加され、予算の総額が59億646万円になりました。

【主な歳入】

- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金 3660万円
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2984万円
- 財政調整基金繰入金 319万円
- 【主な歳出】
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 3660万円
- 新型コロナウイルス感染症対策給付金 200万円
- 酪農・畜産経営安定対策給付金 1305万円
- 簡易水道特別会計繰出金 1799万円

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」

新型コロナウイルス感染症拡大防止及び、影響を受けている地域経済や住民生活への支援を通じて地方創生を図ることを目的として、令和2年度より国から交付されており、今回追加交付が決定したことから、次の3事業に充てるものです。

① 新型コロナウイルス感染症対策給付金

不特定多数の方が受診される医療機関、老人介護事業者等に対し、感染症対策に係る消耗品等購入費増に対する支援策として、1事業者当たり20万円を給付します。

② 酪農・畜産経営安定対策給付金

飼料の高騰により生産コストが上昇している酪農・畜産農家に対し、1経営体当たり15万円を給付します。

③ 簡易水道使用料の基本料金減免

令和4年12月分から令和5年2月分までの3か月間、全町民を対象として簡易水道の基本料金を全額減免します。

■令和4年度簡易水道特別会計補正予算（第1号）
予算の総額に増減はありませんが、次のとおり歳入予算が補正されました。

- 【歳入】
- 簡易水道使用料 ▲1799万円
- 一般会計繰入金 1799万円

町長行政報告（要旨）

■新型コロナウイルスワクチン接種（オミクロン株対応ワクチン）
5カ月以降としている接種の間隔を3カ月以降に短縮することが、厚生科学審議会予防接種ワクチン分科会にて決定されたことを受け、本町では10月21日から集団接種を開始し、12月26日をもって接種を希望する町民への集団接種が完了する計画としました。
既に、10月17日からコールセンター及びインターネットによる接種予約受付を開始しており、対象者は12歳以上の方で1回目、2回目の接種が完了している全ての方が対象となります。

これまでの実施状況は、接種対象者数3683人、10月21日実施分が298人で、接種率は8.1%となっています。
また、乳幼児・5歳から11歳までの小児への集団接種については、現在、遠軽町、湧別町と接種体制確保に係る協議を進めています。



■家畜伝染病（サルモネラ症）の清浄化

8月9日に町内で発生したサルモネラ症については、飼養牛637頭のうち3カ月未満の仔牛40頭と、施設7棟のうち2棟からサルモネラ菌が検出され、投薬治療と施設の洗浄・消毒作業を行いました。その後2週間ごとの検査を実施し、8月22日の2回目検査では仔牛7頭が陽性、9月5日の3回目においても1頭が陽性でしたが、9月20日の4回目では全頭が陰性となり、10月3日の5回目でも飼養牛及び施設環境からサルモネラ菌が検出されなかったことから清浄化となりました。
防疫対策については、消毒用石灰の配布や啓蒙を行っています。更なる重要性を周知していきます。

議会ニュース

・議会の活動状況

議会ニュース

・産業文教常任委員会現地調査

議会の活動状況

令和4年11月～令和5年1月

令和4年11月

- 11月9日(水)
 - ◎第66回町村議会議長全国大会(東京都)
 - ◎高規格道路旭川・紋別自動車道早期建設促進期成会中央要望(東京都)
- 11月21日(月)
 - ◎議会活性化特別委員会
- 11月22日(火)
 - ◎北海道後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会(札幌市)
- 11月25日(金)
 - ◎遠軽北見道路整備促進期成会秋季要望(東京都)

令和4年12月

- 12月5日(月)
 - ◎総務福祉常任委員会及び現地調査(※詳細は15ページ)

令和5年1月

- 12月6日(火)
 - ◎産業文教常任委員会及び現地調査(※詳細は16ページ)
- 12月8日(木)
 - ◎第3回遠軽地区広域組合議会定例会(遠軽町)
- 12月13日(火)
 - ◎議会運営委員会
- 12月14日(水)
 - ◎町議会第4回定例会
- 12月15日(木)
 - ◎産業文教常任委員会
 - ◎議会運営委員会
 - ◎町議会第4回定例会
- 1月10日(火)
 - ◎第1回全員協議会
- 1月19日(木)
 - ◎議会活性化特別委員会
 - ◎議会広報特別委員会

第1回定例会は3月に開催されます！

日程の詳細は、町広報3月号の折込みチラシをご覧ください。
 傍聴を希望される方はマスクの着用など感染症予防対策にご協力願います。



産業文教常任委員会現地調査(令和4年12月6日)

産業文教常任委員会では、町内3カ所の施設等を現地調査しました。

若佐小学校

経年劣化した校舎内窓を木製窓枠から樹脂サッシに改修し、利用頻度の高い教室の照明器具はLEDに取り替えられました。

暖かく明るい環境のもと、子ども達には元気に明るく、充実した学校生活を送ってもらいたいと思います。



教室灯・黒板灯を取り替え、明るい教室に

浜佐呂間市街道路

本路線は、平成6年に町道認定された旧国道で、舗装の劣化により車両通行に支障を来しています。

また、サロマ湖100kmウルトラマラソン大会50kmの部の合流地点となる道路であり、段差等があつては危険なため令和4年度より2ヶ年計画で工事が行われる予定であり、今年度は延長530mのうち300mが施工されました。



工事1年目を終えた浜佐呂間市街道路

町有林素材生産現場

本年度の素材生産事業のうち、町内北区にある生産現場を調査しました。

伐採された木々の匂いが漂う中、昭和30年に植えられた68年生の大口径の木材が高く積み、圧巻の光景でした。近年のウッドショックによる価格高騰や、輸入原木不足により需要が増えているため今後においても計画的な町有林の素材生産事業を進めていってほしいと思います。



材積約800㎡のトドマツ

学校給食センターを訪問しました

今回の現地調査の際に、両常任委員会にて学校給食センターを訪問し、平成28年以来久し振りに給食をいただき、大城管理栄養士から、町の食材を取材・活用した「ふるさと給食」の説明や携わる町内各事業所からの食材提供の話をはじめ、映像による児童生徒の給食時間の様子や調理機器の機能など、学校給食の現状を知ることができました。



町で輝いている人たちを紹介します

みんなの笑顔で まちを元気に!

Vol. 34 「佐呂間町剣道協会」



佐呂間町剣道協会は、昭和44年に設立され、その後昭和60年には全町的な体制を確立して現在に至っています。

全国的な剣道ブームが下火になり会員数は減少しています。が、剣道理念である『剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である』のもと、会員一人ひとりが剣道技術の向上に努めるとともに、青少年の指導育成に力を注ぎ、日々熱心に活動を行っています。

剣道は年齢、性別、体格差などに関係なく一緒に稽古ができます。生涯剣道と言われ、幼児から高齢者まで幅広い年齢層で実践できる運動文化であることが大きな魅力です。

また剣道には多様な側面（スポーツ、武道、伝統文化、精神性など）があり、その人ごとに目標を立て、学んでいけることも魅力の一つです。

武道館温水プールStarにて毎週火・木曜日午後7時より活動していますので、見てみたい方、やってみたい方、再開してみたい方など、どうぞお気軽にお声掛けください。なりたいたい自分を目指して共に歩んでいきましょう。



議員のつとめ

世の中がコロナ禍になって早3年になる。その間、ロシアによるウクライナ侵攻、エネルギー問題、世界物流の停滞による物価高騰や円安など、生業に影響を受けている人々は多い。

特に佐呂間町の基幹産業である酪農・畜産農家の経営悪化は心配である。

国や関係機関、それぞれができる限りの経営安定化対策を行っているが、すぐ効く特効薬は年数が掛かるのだらう。

ウイルスも経営も先が見えない複雑・多岐なもので、右肩上がりの持続はあり得ないと思う。

複雑な波の中をどうやって乗り切ることができるのか、政治と経済、共存の舵取りが試されている。



土田 剛

編	集
議 会 広 報	会 員 会
特 別 委 員	副 委 員 長
委 員	委 員 長
員 員	員 員
面 渡 辺	山 内
米 次	一 弘
	高 橋
	紀 久
	土 田
	剛